

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2024. 4



米・シャープ (A3+/カラー) BP-1200C



中国・コニカミノルタ (A3+/モノクロ) AccurioPress 7136



中国・PANTUM (A3/カラー) CM420ADN



村田機械 (A3/モノクロ) MFX-8239



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

【特集1】「感光体市場」より抜粋

1. 感光体の世界市場

1) 日本／海外メーカー別の生産本数推移（2014年～2027年）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
日本メーカー生産量	203,700	197,075	177,672	181,022	174,180	164,777	133,920
対前年比	—	96.7	90.2	101.9	96.2	94.6	81.3
海外メーカー生産量	150,070	169,800	183,120	180,200	200,700	211,000	204,000
対前年比	—	112.8	108.1	100.0	114.6	123.7	120.4
合計	353,770	366,875	360,792	361,222	374,880	375,777	337,920
対前年比	—	103.7	101.9	100.0	105.4	103.9	97.1

【特集2】「APPEXPO 2024」より抜粋

特集2 - APPEXPO 2024

2月28日(水)から3月2日(土)までの4日間、中国・上海市の国家会展中心において第31回上海国際広告技術設備展覧会（通称 APPEXPO）が開催された。

APPEXPO は広告及びサイン業界に関連する技術や装置についての世界最大の展示会。弊社では同展示会の直接取材を敢行し、中国現地メーカーに対するインタビューや写真撮影を実施した。

今月号の特集では、サ
ジェットプリンタメーカ

「新製品及び消耗品情報」 【中国】＜オフィス向け＞より抜粋

【中国】

＜オフィス向け＞

N-カラーMFP (A3) - 中国-PANTUM-2

商品名	CM420ADN/330ADN/270ADN			
標準価格	n/a (前任機 46,200～68,200 元)			
発売年月	2024年3月			
出力サイズ	A3			
スピード	C・Mとも 35/30/25枚/分(A4)			
複合状況	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
(※はオプション)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標販売台数 (中国市場)	(弊社推定) 500台/年			



CM420ADN

【位置付け】

新規	今回の機種は、2023年2月頃に発売された「CM410ADN/320ADN/260ADN」(46,200～68,200 元、C・Mとも 35/30/25ppm)の後継機。前任機同様、富士フイルムビジネスインノベーション製エントリーA3機のOEM。前任機では一世代前のEA-Ecoトナーが採用されていたが、新機種ではSuper EA-Ecoトナーに変更されている。
後継	
その他	
OEM受	

【販売ターゲット】

ターゲット 官庁及び一般オフィス向け

【製品ラインアップと競合機】

※はオプション

機種名	発売日	価格 (元)	出力スピード* (枚/分)	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
CM420ADN	24.3	68,200 ※前任機価格	C35/M35	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
競合機	長城「CM8036DN」 ※コニカミノルタのOEM機	24.1	88,999	C36/M36	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	HG「HGFC5366」 ※コニカミノルタのOEM機	20.7	75,680	C36/M36	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	TOEC「MC3550CDN」 ※シャープのOEM機	21.8	45,000	C35/M35	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	※ <input type="radio"/>
	キヤノン「iR-ADV DX C3835」	21.12	84,000	C35/M35	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	※ <input type="radio"/>
	京セラDS「TASKalfa 3554ei W」	22.8	74,303	C35/M35	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	※ <input type="radio"/>

2023年における中国の景気後退やオフィスのプリンタが加速したことで、今後の将来見込みでの長寿命化などあり、全世界



受付の様子

「生産情報」より抜粋

P-ローラー-アーケム-1

本年4月に刊行予定の「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」よりアーケムのローラー事業について報告する。

アーケムはブリヂストンの化成系ソリューション事業を引き継ぐ形で2022年1月に設立され、同年8月より営業活動を開始した。OAローラーについては2023

年6月をもって国内生産

生産移管が困難であ

は2023年をもって撤

2023年の総出荷本

の48億8千万円。専

販売が停滞し、前年

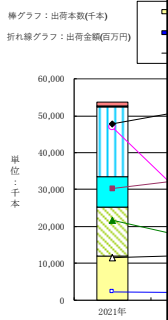
2025年以降は減少ス

なお、同社の株式は

田区)が組成・管理・

組合が全量を保有。4

<アーケム>



年	2021年
出荷本数(千本)	53,000
対前年比	
出荷金額(百万円)	8,000
対前年比	

※弊社「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」上記レポートでは国内生産のみのデータとなります。興味のある方はご

「その他情報」より抜粋

■ その他情報 ■

○ 業界再編-富士フイルムビジネスイノベーション/コニカミノルタ-1

富士フイルムビジネスイノベーションとコニカミノルタは4月15日、複合機・オフィス向けプリンタ・プロダクションプリンタ事業での業務提携に向けた協議を開始すると発表した。原材料や部材の調達部門の統合と、トナーの開発や生産に関わる業務提携などを視野に入れる。

両社は9月までに新会社を設立し、各種原材料と部材の調達機能を統合させる。富士フイルムビジネスイノベーションが新会社の株式の過半を保有する。購入規模を拡大することでコストを圧縮するほか、コロナ禍の数年に業界を超えた競争戦となった半導体などの安定調達につなげていく狙いがあるとみられる。人員削減を発表しているコニカミノルタの調達機能の不足を新会社が補うという見方もできるだろう。

また、トナーの開発や生産をベースとしたトナー技術の生産規模は両社とも年1万5千基。これは、キヤノンの年2万5千基が設立するETRIAの年1万5千基を見込み、将来的に合わせて3か所の重合機を増加させるというBCG戦略で2021年にトナー工場の拠点を重合トナーを集中する。上記以外の業務提携の

た富士フイルムビジネスイノベーションの製品供給網を利用するチャンスとなるだろう。なれば、その先には複合機の向きもある。両社が複合機、対リコー(ETRI)に立てる可能性が広がっていくことができる。

<両社の出荷台数・生産量>

複合機の出荷台数
PPの出荷台数
トナー生産量
感光体生産量

「その他情報」より抜粋

○ プリンター-長城-1

中国の長城情報股份有限公司(以下、長城)は3月、自社開発のA4モノクロプリンタ/MFP「2400/2500シリーズ」(全6機種)の発売を開始した。独自のセキュリティ技術を搭載しており、政府、軍事及び中国基幹産業向けに拡販を進めていく。

長城は2007年に湖南省長沙市で設立。中国中央政府(国務院)に直属する国有企業「中国電子信息产业集团有限公司」傘下の精密機器企業。2019年11月、独自ブランドのA3複合機(シェアP OEM機)を発表し、複合機・プリンタ市場へ参入した。A4プリンタについてはこれまで中国PANTUMからOEM供給を受けてきたが、今回の機種は自社工場生産した自社開発エンジンであるとしている。



M2500ADW



P2400DW

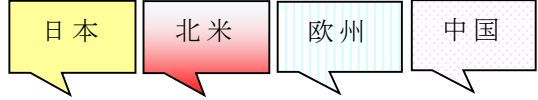
<製品ラインナップ>

	M2500ADN	M2500ADW	M2400ADN	M2400DW	P2400DN	P2400DW
機 能	コピー/プリンタ/スキャン			プリンタ		
A D F	○	○	×	×	○	○
W i F i	×	○	×	○	×	○
ス ピ ード	25枚/分(A4)		24枚/分(A4)			
ファーストプリントタイム	5秒以下					
解 像 度	600×600dpi					
用 紙 サ イ ズ	B5~A4					
給 紙 枚 数	150枚					
サイズ(W×D×H)	420×336×310.7mm		420×336×260.35mm		356×247×202mm	
重 量	9.6kg		8.9kg		6.6kg	

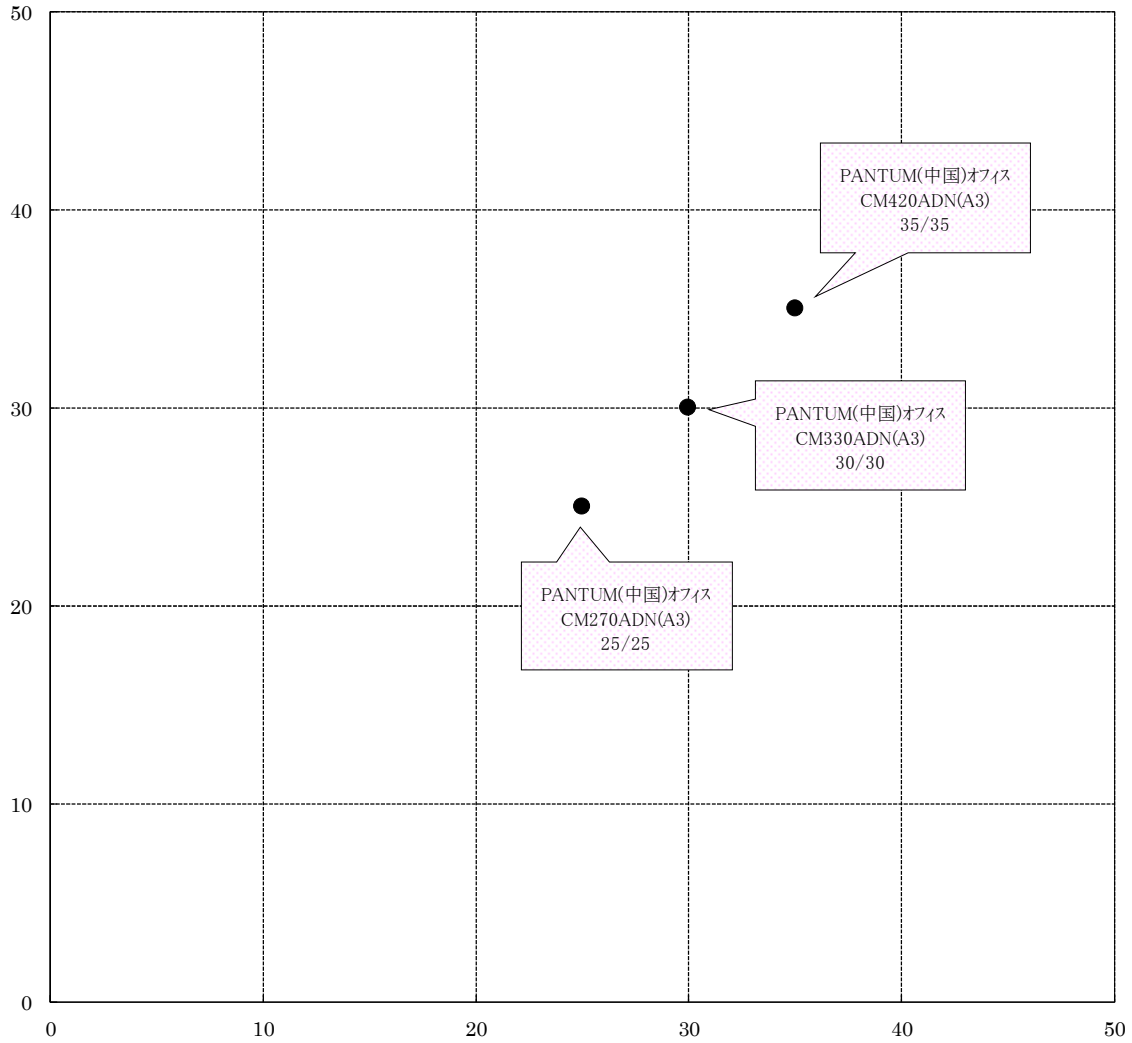
2024. 4 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・・・●、A4・・・▲)



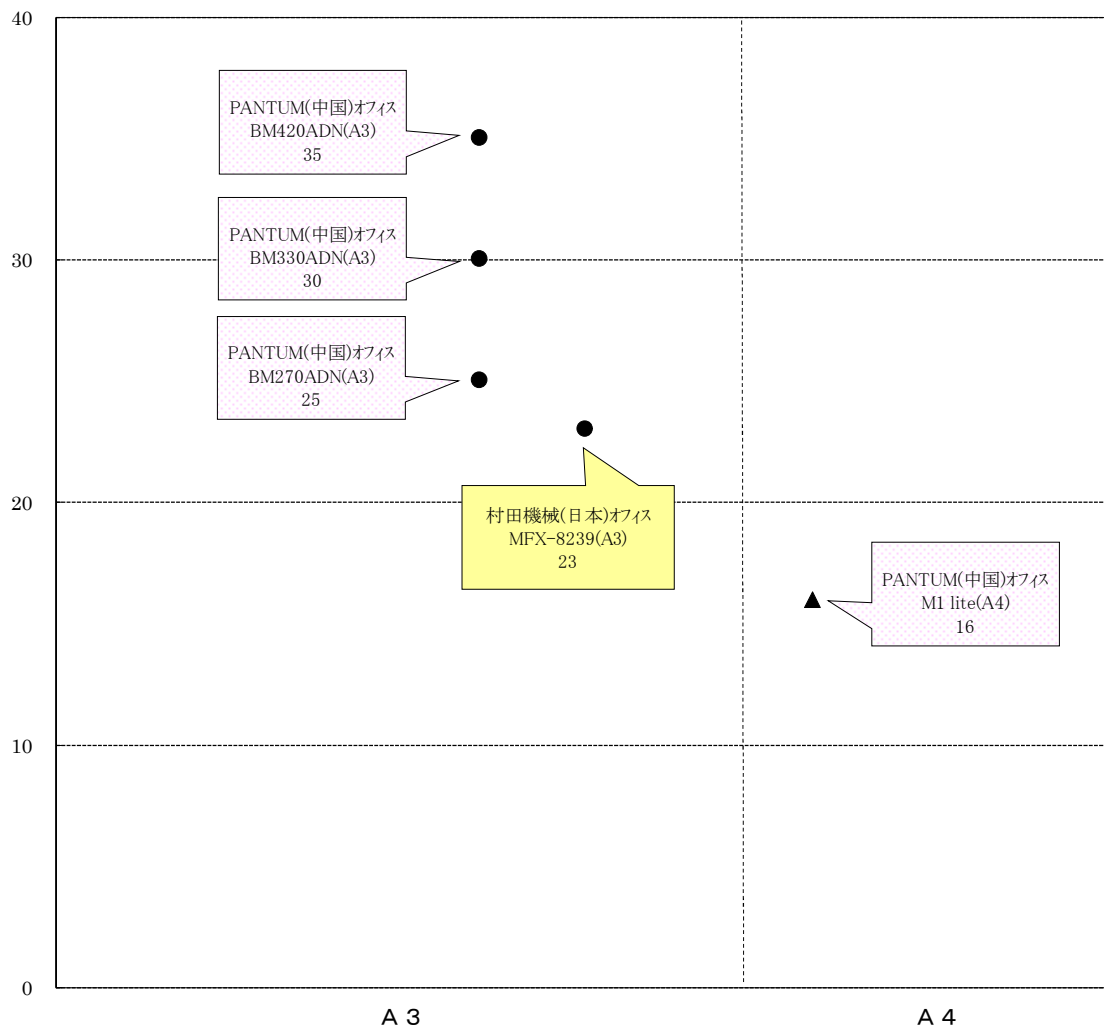
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

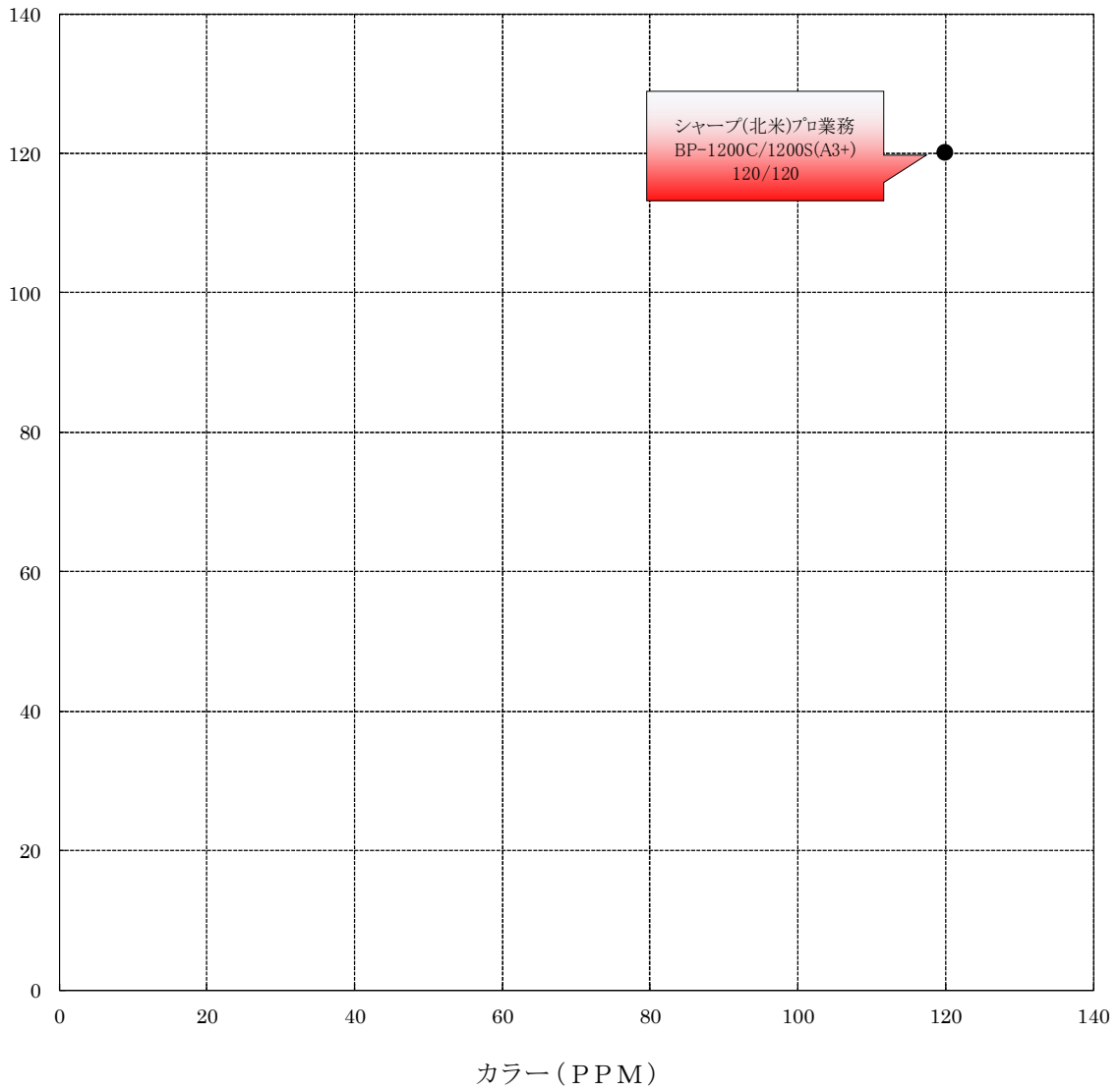
2. モノクロ MFP (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



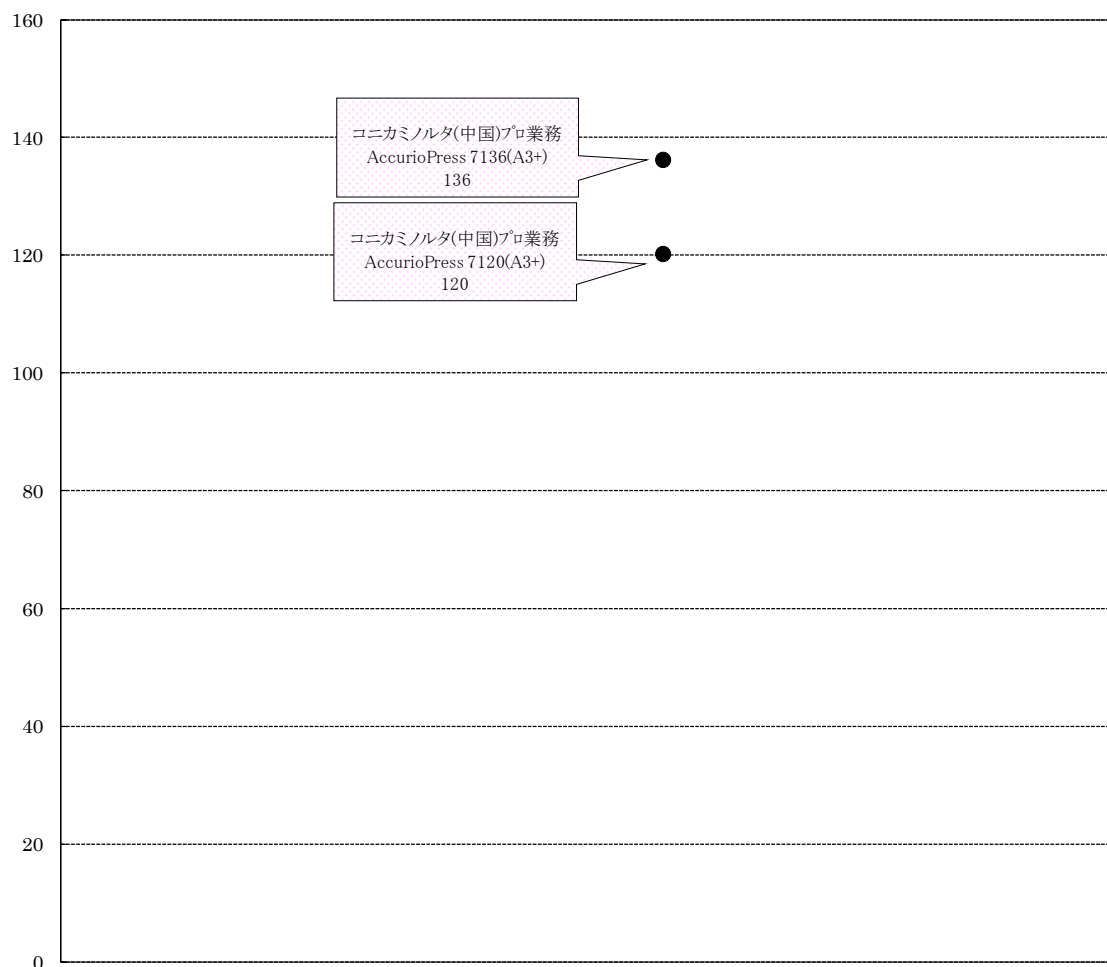
3. カラープロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



4. モノクロプロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



2024年4月号目次

■ 特集 ■

特集1－感光体市場	1
1. 感光体の世界市場	2
2. メーカーシェア（2023年）	5
3. 主要感光体メーカーの概況	8
特集2－APPEXPO 2024	11
1. 全体概要	12
2. サインプリンタメーカーの出展状況	13
3. その他メーカーの出展状況（テキスタイル・インク・ヘッド）	19

■ 実販情報 ■

F－モノクロMF P（A3）－キヤノン－4 （iR-ADV 4045F 他）	23
F－モノクロMF P（A3）－富士フイルムBI－2 （ApeosPort 4570 他）	24
F－モノクロMF P（A3）－コニカミノルタ－2 （bizhub 450i 他）	25
F－モノクロMF P（A3）－リコー－2 （IM 5000 他）	26

■ 新製品及び消耗品情報 ■

[国内]

<オフィス向け>

N－モノクロMF P（A3）－村田機械－1 （MFX-8239 標準モデル/Is モデル）	27
--	----

[北米]

<プロ／業務向け>

N－カラープロダクションプリンタ（A3+）－米・シャープ－1 （BP-1200C/1200S）	34
--	----

[中国]

<オフィス向け>

N－カラーMF P（A3）－中国・PANTUM－2 （CM420ADN/330ADN/270ADN）	39
N－モノクロMF P（A3）－中国・PANTUM－3 （BM420ADN/330ADN/270ADN）	46
N－モノクロMF P（A4）－中国・PANTUM－4 （M1 lite）	48

<プロノ業務向け>

N-モノクロプロダクションプリンタ (A3+) - 中国・コニカミノルタ- 2	50
(AccurioPress 7136/7120)	

■生産情報■

P-新会社設立-東芝テック- 1	52
(トナー等を製造・販売する新会社「ETRIA PRODUCTS USA」を設立)	
P-感光体-リコー- 1	53
(感光体の生産本数推移/「2024年版感光体マーケット総覧」より)	
P-感光体-三菱ケミカル- 1	54
(感光体の生産本数推移/「2024年版感光体マーケット総覧」より)	
P-ローラー-アーケム- 1	55
(OAローラーの出荷本数/金額推移/「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」より)	
P-加圧ローラー-東邦ゴム- 1	56
(加圧ローラーの出荷本数推移/「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」より)	

■流通情報■

D-欧州市場参入-富士フイルムヨーロッパ- 1	57
(オフィス向け複合機の「Apeosシリーズ」を欧州市場で発売)	
D-新会社設立-京セラドキュメントソリューションズ/TA Triumph-Adler- 1	58
(欧州のロジスティクス業務を統合する新会社を設立)	

■その他情報■

O-業界再編-富士フイルムビジネスイノベーション/コニカミノルタ- 1	59
(複合機・プリンタ事業での業務提携に向けた協議を開始)	
O-リストラ-コニカミノルタ- 1	60
(2025年3月末までに国内外で2,400人を人員削減)	
O-MFP-レックスマーク- 1	61
(同社初の自社開発A3複合機/プリンタ「新Lexmark 9シリーズ」を発表)	
O-事業譲渡-ゼロックス/PBSグループ- 1	62
(米ゼロックスがペルーとエクアドルにおける事業をPBSに移管)	
O-連結子会社化-富士フイルムビジネスイノベーション/RIPCORDER- 1	63
(富士フイルムBIが富士フイルムRIPCORDER合同会社を連結子会社化)	
O-MFP-コニカミノルタ- 1	64
(コニカミノルタヨーロッパがA3/A4MFPの全21機種を一斉リリース)	
O-プリンター-長城- 1	65
(自社開発のA4モノクロプリンタ/MFP「2400/2500シリーズ」を発売開始)	
O-戦略的提携-iAicon/CET- 1	66
(iAiconとCETが戦略的パートナーシップを締結)	

○ー産業用インクジェットプリンターリコー／Floraー1	67
(リコーヨーロッパが Flora と共同開発した「Flora X20」を欧州で発売)	
○ー中国企業インタビューーXULIー1	68
(中国広州市のサインプリンタメーカーにインタビュー)	
○ー業界関連情報ー各社ー4	70
ブラザー工業がラテックスワイドフォーマットプリンタ「WF1-L640」を発売／富士フイルムホールディングスが本社・主要研究開発拠点の全使用電力を実質再生可能エネルギー化／ゼロックスがチャネルパートナー向けにポートフォリオのアクセス拡大／リコーが北米で展開する Ricoh eDiscovery (電子証拠開示) 事業を Array に譲渡／リコーが脱炭素目標を大幅に見直し／リコーがウェアプリント市場向けに DTF プリンタを発表／キヤノンのプリンティング製品 11 機種が「EPEAT Climate+ designation」を取得／キヤノンがオレンジとグレーインクを搭載した大判プリンタ 3 機種 (7 色機) を発売／キヤノンがグラフィックアート向け大判プリンタ 3 機種 (12 色機) を発売／京セラドキュメントソリューションズがベトナム工場で太陽光発電システムを本格稼働／エプソン販売が乾式オフィス製紙機 PaperLab『A-8100』を発売／エプソン販売が A4 カラーラインインクジェット複合機『LM-C400』を発売	

統計速報

統計全体のあらまし	83
複写機統計 (生産／受入の内訳／販売／月末在庫)	84
プリンタ統計 (生産)	88
事務用機器輸出統計	89
(ネットワーク対応 MFP／単機能機)	
事務用機器輸入統計	92
(ネットワーク対応 MFP／単機能機)	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2024.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2023年実績)を報告。
2024.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:複写機・複合機(MFP)の最新出荷動向を取り上げた。全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・全世界のホーム&オフィス向けインクジェットプリンタ出荷動向:ホーム&オフィス向けインクジェットプリンタの最新出荷動向を取り上げた。今後IJP市場は再び減少速度が加速する可能性もある為、各社が期待を寄せるオフィス市場向けのビジネスインクジェットの成長が不可欠となる。
2024.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェット技術の最重要パーツであるインクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.12	・Formnext 2023:ドイツのフランクフルトで開催された展示会について、特にバインダージェット技術などのインクジェット技術に注目し、同技術を採用する主要3Dプリンタメーカーを中心に取材を実施。 ・複合機・プリンタ業界における2023年の振り返りと2024年の展望:本誌で取り上げた2023年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2024年の業界を展望。
2023.11	・RemaxWorld Expo 2023:同展示会に出展したアフターメーカーを直接取材し、主要消耗品メーカーなどの最新情報をレポート。 ・Formnext 2023(写真速報):中ドイツのフランクフルトで開催された同展示会の様子を写真速報版として掲載。 ・決算:複合機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4~9月期(中間期)の決算(キヤノンのみ1~9月期)を概観。
2023.10	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国3Dプリンタ市場:中国における3Dプリンティング技術発展の歴史を概観し、同市場を牽引する主力メーカーの動向及び中国3Dプリンタ市場全体を考察。
2023.9	・プロダクションプリント(PP本体・PP向けトナー)の最新市場動向:主要メーカーの2022年最新出荷台数実績や製品レンジ別の市場動向、PP向けトナーの生産量動向を概説。
2023.8	・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概観。
2023.7	・ITMA 2023:同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。 ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2023.6	・中国Ninestarの企業分析:Ninestarの徹底分析を実施。レーザープリンタや互換消耗品の売上高や出荷数量推移をまとめたほか、部材の主要調達関係も整理している。 ・ITMA 2023(速報版):展示会の主要6社の出展状況を写真速報版で掲載。
2023.5	・Interpack 2023:ドイツでの同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポートする。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年度(キヤノンは2022年12月期)の決算と2023年度見通しを概観。
2023.4	・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。感光体需要の頭打ちに加え、原材料価格やエネルギーコストも高止まりしており、今後は技術力だけではなくコスト力も含めた感光体メーカーとしての総合力がより重要となると考察。
2023.3	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2022年実績)を報告。
2023.2	・全世界の複写機・複合機(MFP)出荷動向:全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:同業界の状況をレポート。 ・プリンテッドエレクトロニクス・コンファレンス:プリンテッドエレクトロニクス市場の印刷方式を概観しながら、韓国、オランダ、フィンランドで開催された展示会を写真速報で紹介。
2022.12	・IGAS 2022:主要出展企業と出展状況等をレポート。 ・複合機・プリンタ業界における2022年の振り返りと2023年の展望:本誌で取り上げた2022年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2023年の業界を展望する。
2022.11	・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~9月期(中間期※キヤノンは1~9月期)の決算を概観。 ・JIMTOF 2022:AM(Additive Manufacturing)エリアに出展した3Dプリンタ関連メーカーを中心にレポート。
2022.10	・Labelexpo Americas 2022:展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。(現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施)
2022.9	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。近年、市場全体が縮小に向かう中、事業売却・アウトソーシング等様々なトナーの今後の可能性をレポート。 ・サイン&ディスプレイショー 2022:9月1~3日に東京ビッグサイトで開催された展示会の出展状況をレポート。
2022.8	・産業用・商業用インクジェット市場:事務機メーカーのインクジェット技術による市場開拓の状況を取り上げた。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概観。
2022.7	・中間転写ベルトの最新市場動向:複写機・レーザープリンタの基幹部品である中間転写ベルトの市場動向を取り上げた。 ・FESPA Global Print Expo 2022:インクジェット技術に焦点を当てた同展示会(ドイツ:ベルリンで開催)に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。
2022.6	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2022.5	・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。
2022.4	・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2021年実績)を報告。 ・InPrint Munich 2022:3月15~17日にドイツのミュンヘンで開催された、主にインクジェット技術に焦点を当てた展示会InPrint Munich 2022の主要メーカーの出展状況を報告。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
《定期刊行物》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥800,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～ (PDF版)	2021年 7/27～			
《2024年刊行予定物》							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/26	\$5,200 (PDF版)	4/15	¥700,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000 (PDF版)	4/25 予定	\$5,000 (PDF版)	6/7 予定	¥700,000	日 英	
《2023年刊行物》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文 対応		日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場 (ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—			
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』 (389頁)	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版(メーカー別総合分析版)> (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000 (PDF版)		標準版： 12/22 長期予測 特別版： 12/26	—			
《その他の刊行物》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23		日 英	
* 2020年版[緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19		日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31		日 英	